

＜事例編の見方について＞

プログラム名

※アクティビティーを実施するのにふさわしい校種、学年の例です。児童生徒の実態に応じて、それ以外の校種、学年での実施も可能です。

中学校・〇年生

I プログラムについて

※各プログラムは、いずれかの「人権感覚育成のための視点」(5ページ参照)をねらいとしています。

- 1 人権教育上のねらい (普遍的な人権課題「・・・・」)
 = 【人権感覚育成のための視点】

- 2 関連する教科等について
- ※各プログラムの実施が可能な教科等の例を示しています。

- 3 人権教育上の視点
- ※「人権教育上のねらい」の達成を目指し、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力(知識的側面、価値・態度的側面、技能的側面)を示しています。

II アクティビティーについて

- 1 概要
- ※アクティビティーの概要を示しています。

- 2 準備するもの
- ※アクティビティーを実施する際に準備が必要なものです。

- 3 アクティビティーの進め方
- ※アクティビティーの流れや進め方、約束事、ルールなどを示しています。

- 4 アクティビティーを指導する際のポイント
- ※アクティビティーを実施する際に、教師が配慮すべき事項を示しています。

III 授業の実際

※各プログラムを各教科等で実施する際の授業展開例です。

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
	<p>※小学校は児童</p> <p>※小学校は (C)</p>	<p>※「人権教育上の視点」に示した資質・能力(知識的側面、価値・態度的側面、技能的側面)を身に付けさせるための教師による具体的な手立てを示しています。</p>

- ### IV 資料
- ※各プログラムを実施する際のワークシート、提示資料等です。

- ### V 出典・参考資料
- ※各プログラムを作成した際、参考資料等がある場合は、それを記載しています。